

はくぶつかん おうちで博物館ぬりえ かいせつ

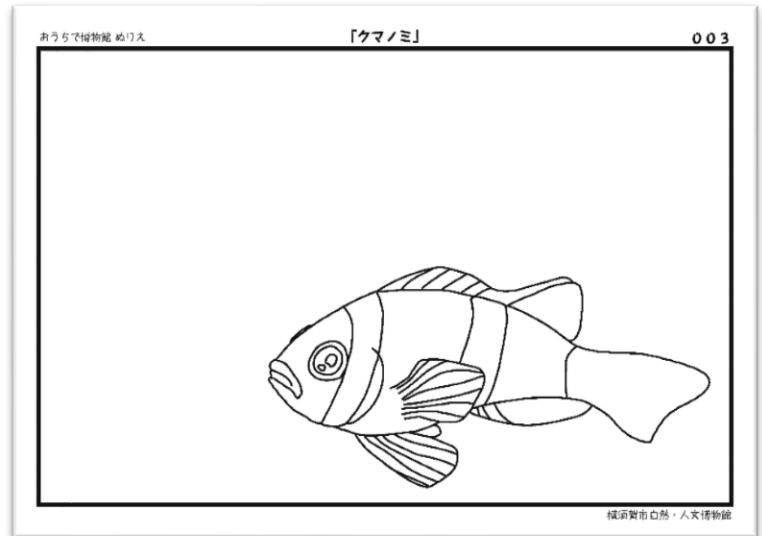
【003 クマノミ】

解説：熱帯・亜熱帯の浅い海でくらすズメダイのなかまで、まれに横須賀の海にも、夏に子ども（稚魚）が海流によってやってきます。イソギンチャクのなかまと共生しますが、やがて冬になると横須賀の寒さにはたえられずに死んでしまいます。

展示：博物館には展示されていません。

対象：未就学児～小学校低学年（1～3年生）向け。

コツ：クマノミのうろこはとても細かく、肩から尾のつけ根までの間に約40枚もあります。ぬりえでは気にせずにぬったほうがよいでしょう。下の写真の後ろに見えているのは、大型のイソギンチャクのなかま「サンゴイソギンチャク」です。横須賀の海ではクマノミはこの種のイソギンチャクをかくれがとして利用しています。



ぬりえ図案「クマノミ」（実際はA4判）



クマノミ